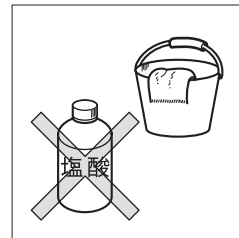


この度は本商品をお買い上げいただきありがとうございます。末永くご愛用いただくために、この「施工要領書」をよくお読みいただき正しい施工をお願いします。なお、商品到着後は、すみやかに検品をお願いいたします。本体に傷、付属品の不備などがございましたら、商品到着後10日以内にご連絡ください。

⚠️ 施工上のご注意

- 商品に傷をつけないようご注意ください。
(傷は錆びの原因となりますのでタッチアップ塗料等で必ず補修を行ってください。)
- 傷などの補修方法はお問い合わせください。
- 取付場所が通行のさまたげにならないか、十分に確認してください。
- 本体に、ホース等で直接水をかけないでください。
- 商品の施工に関しては必ず「施工要領書」に従ってください。
- むやみに改造・変更をしないでください。
- 主電源を切ってから施工を行ってください。
- 100V電源は漏電ブレーカーを介して接続し、D種(第3種)接地工事を必ず実施してください。(電気工事店にご依頼ください。)









- ねじなどのゆるみがあるかどうか確認し、ゆるんでいる場合はしめてください。
- 商品の塗装表面には、直接養生テープを貼り付けしないでください。塗装剥がれの原因となります。
- 商品に付着したモルタルやコンクリートなどは速やかに清掃してください。
- 施工時の汚れ落としは、中性洗剤をご使用ください。シンナー、塩酸などを使用すると、腐食の原因になります。



⚠️ ご注意

⊘ ほたるスイッチと組み合わせて使用しない

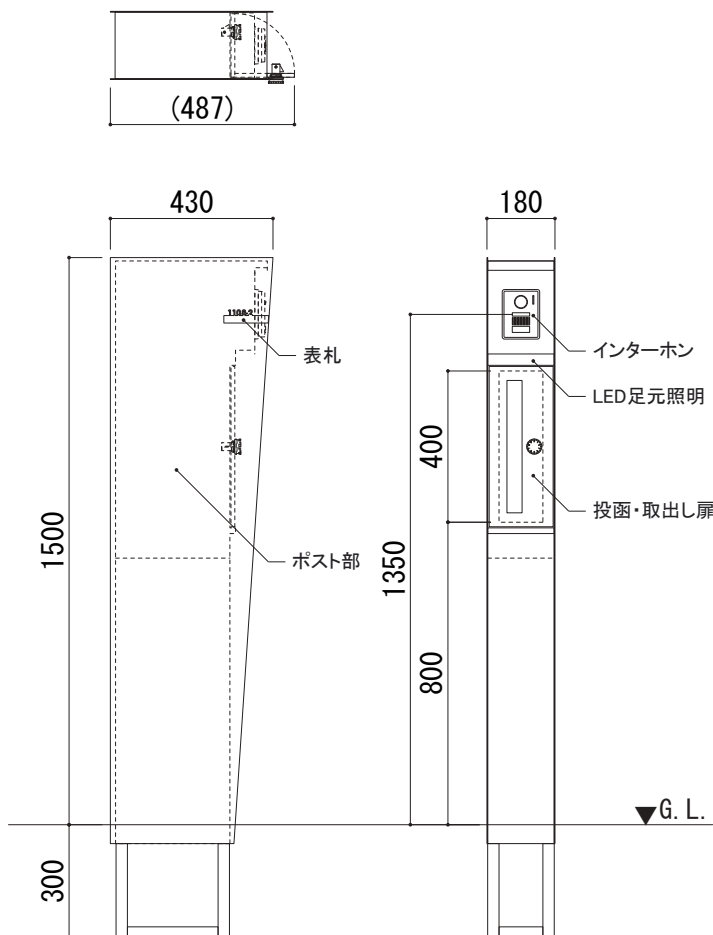
禁止 LED照明(100V)にほたるスイッチを接続する場合、ほたる点灯時に流れる微小電流により、LED照明(100V)がぼんやり点灯、点滅する恐れがあります。ほたるスイッチと組み合わせて使用しないでください。

No.		数量
1	本体 	1個
2	LEDユニット 	1セット
3	トレイ 	1個
4	M4×15 トラス小ねじ 	2本
5	M4 ナット 	2個
6	バンポン 	2個
7	配線引き込み用針金 	1本
8	ダイヤル錠開錠番号シール 	4枚

※上図の番号は解錠の一例です。各番号は解錠番号シールを確認してください。

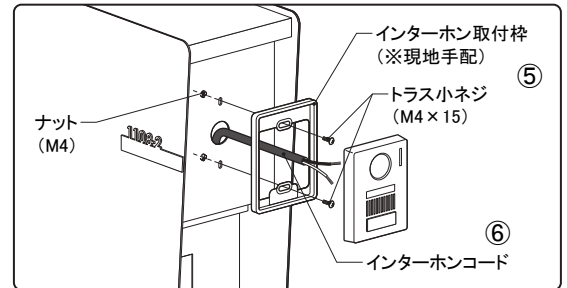
■ 本体寸法図

※100V仕様



■本体の取付（配線準備）

- ① 本体裏板を取外してください。
- ② 照明コードとインターホンコード（※現地手配）を本体内に引き込んでください。
※必要であれば、同梱の配線引き込み用針金をご使用ください。
- ③ LEDユニット（同梱）のLED配線コードと照明コードを結線し、絶縁防水処理（※現地手配）した後、LEDユニットを所定の場所にしっかりと置いてください。
※不安定な場合はテープ等でユニットを固定してください。

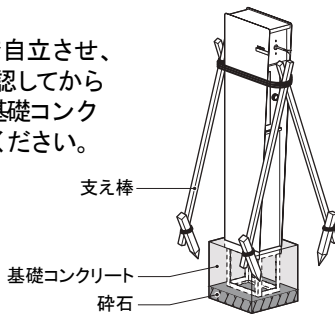


⚠️ ご注意

- PF管埋設工事については、「内線規程」に従ってください。

■本体の埋込

- ④ 本体を支え棒で自立させ、垂直・水平を確認してから碎石を転圧し、基礎コンクリートを打ってください。



■インターホン子機の取付

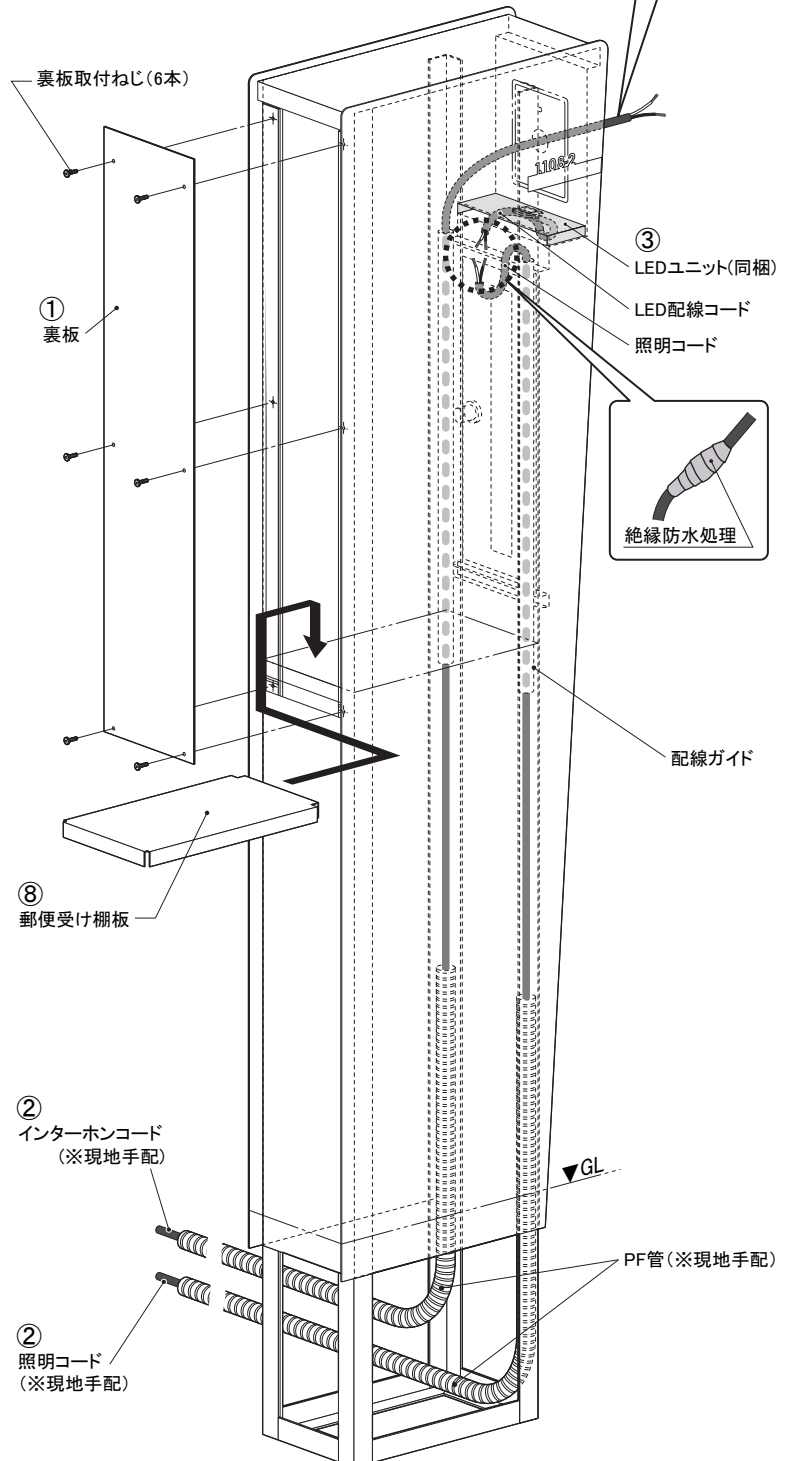
- ⑤ インターホン取付枠をトラス小ねじ（M4 x 15）と、ナット（M4）で本体所定の位置に取付け位置を調整してください。
- ⑥ インターホンコード（※現地手配）をインターホン子機に結線してください。
- ⑦ インターホン子機をインターホン子機付属ねじ（※現地手配）でインターホン取付枠に取付けてください。

⚠️ ご注意

- 裏板の裏表を確認の上、組付けて下さい。
- ねじを固定する際は、電動工具による締めつけは本体破損の原因となりますので行わないでください。
- 本体にホース等で直接水をかけないでください。故障の原因となります。
- 電気配線は電気工事店にご依頼ください。

■郵便受け棚板の取付

- ⑧ 郵便受け棚板を、本体所定の位置に取付けてください。
- ⑨ 裏板を元の位置に取付けてください。



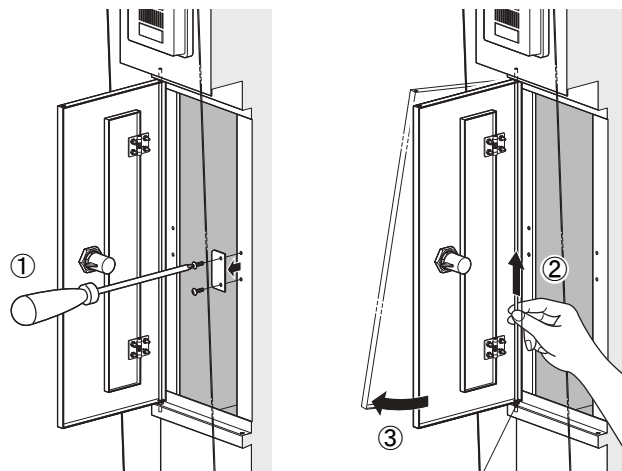
■投函・取出し扉の左右設定について

※本製品は、投函・取出し扉の左右勝手を変更する事が出来ます。

- ①+(プラス)ドライバーでダイヤル錠受けを固定しているトラス頭ねじ(2ヶ所)を回し、ダイヤル錠受けを取外します。
- ②投函・取出し扉を開き、ヒンジ棒を上を持ち上げながら下部の軸穴からヒンジ棒を抜きます。
- ③投函・取出し扉を外します。

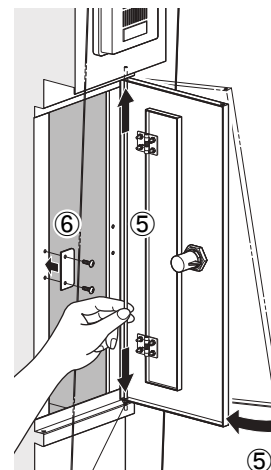
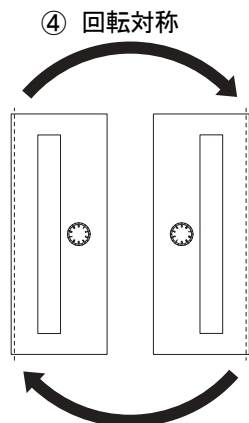
⚠ ご注意

●投函・取出し扉を取外しの際、樹脂ワッシャーが落下しやすいので、紛失しないように気を付けてください。



樹脂ワッシャー
⚠ 紛失注意

- ④投函・取出し扉を上下回転(左右勝手反転)し、本体の所定の位置に樹脂ワッシャーを置きます。
- ⑤投函・取出し扉を樹脂ワッシャーの上に静かに置き、ヒンジ棒を上部穴、その後下部穴の順に差し込みます。
- ⑥先程外したダイヤル錠受けを、トラス頭ねじ(2ヶ所)にて本体所定の位置に取付けます。(※最初と反対側)

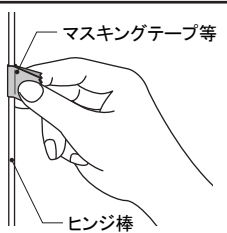


④ 樹脂ワッシャー
⚠ 入れ忘れ注意

★ワンポイントアドバイス

投函・取出し扉脱着の際にヒンジ棒が持ちにくい場合、右図の様にヒンジ棒にマスキングテープなどを巻き付け、持ち手を作ると作業しやすくなります。

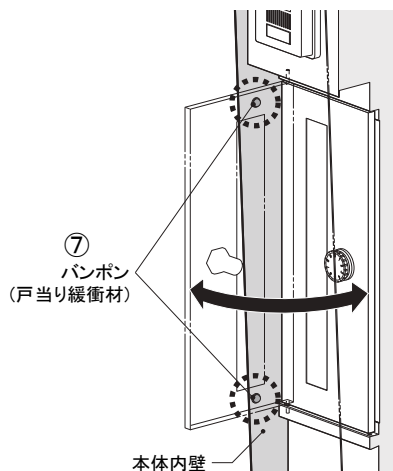
※作業後はテープをキレイに取り除いてください。



マスキングテープ等
ヒンジ棒

■バンポン(戸当り緩衝材)の取付

- ⑦右図の様に投函・取出し扉開閉時に、本体内壁と接触する任意の場所上下2箇所バンポン(戸当り緩衝材)をしっかりと貼り付けてください。



⑦ バンポン
(戸当り緩衝材)

本体内壁